事業番号 新24-1

						77 - 1 2		4 F 4= :	rL ==	AK 1	1.8		争未留7			24 — 1
_	alle des			A SS sale (to .)	A / 1			4 年行		某レ				(外教	
_	業名				拠出金(任意拠出金)			担当部			軍縮不拡散・科			作成責任者		
	定)年度	平成64			6年度開始		担当	課室		国際原子力		·		羽鳥隆		
会記	计区分		一般会計					施策	名	VII -	Ⅲ-1 国際機関等を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献					
(具	処法令 体的な も記載)	外務省設置法第4条第3項							関係する計画、 通知等							
(目打筒潔に	の 目的 旨す姿を こ。3行程 以内)	本件事業を実施することにより、1986年に事故を起こしたチェルノブイリ原発から周辺環境や地下水に拡散する放射能汚染を防止し、環境保全及び原子力安全の一層の向上を図ることを目的としている。 本件事業の下では、2つの事業が実施される予定である。第一に、チェルノブイリ原発1-3号炉で使用された燃料と廃液を貯蔵するための														
(5行		「使用 たチェ	済燃料は	中間貯蔵施設 リ原発4号炉	」の建設で については	ある。第二 、応急措	こに、 置とし	チェルノブイノて、これまつ	リ原発 で原子	4号炉 炉を「石	を覆うシェ 棺」(コン	ルター クリート	建設である。	1986年4	月に爆き す能汚る	発事故を起こし なを防いでいた
実加	包方法	□直接実施 □₫		口委	託·請負		補助		負担		□交付		□貸付 ■そ		の他	
		_			21年度			22年度			23年度		24年	度	2	5年度要求
		予	当神	切予算	48	3		_			_		1,38	1,382		1,284
		算	補工	E予算	_	_		_			_		_			
	車額・ 行額	の状	繰走	逃し等	_	_		_			_		_			
	:百万円)	況		計	48	48		_			_		1,382		1,284	
			執行	額	48		_									
		i	<u> </u>		100		_			_						
		成果指標							単位	Ī.	21年度		22年度	23年	度	目標値 (24年度)
成	大大限	▼ チェルノブイリ原発安定化の#						成果実績	会合参加	回数	5		3	6		6
(25	1.73.44	4年末及び2015年央までに完成させるための 調整及び貢献。						達成度	%		100		100	100)	
活動指標及び活動実績(アウトプット)		活動指標							単位	Ī.	21年度		22年度	23年	度	24年度活動見込
		G8原子力安全・セキュリティ・グループ会合(通常年3回)、チェルノブイリ関連拠出国会合(通常年3回)、アェルノブイリ関連拠出国会合(通常						活動実績	施設(_		_	_		_
(31)	トノツト)	ブット) 年2回)への参加等を通 実施及び我が国拠出金 る。						(当初見込み)			刊 —		(-)	-) (-)		50%
単位当たりコスト		3. 1, 382(百万円/1回(今年度事業分))						算出根拠 総予算(1,382百万円)/今年度事業分(1回)								
744	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			24年度当初	医当初予算 25年度要求							主な	增減理由			
平成24・25年度予算:	拠出金			1,382		1,284										
) 内 訳																
	計			1,382	32 1,284											

業であるか。 表、民間等に委ねるべき事業 表が国内において原子力安全への関心が高まっている中で、本件事業は原子力安全向上のための国際的な知事例であり、我が国内に対する内外の信認をごとは原子力安全に係る我が国に対する内外の信認をごとは原子力安全に係る我が国に対する内外の信認をごとは原子力安全に係る我が国に対する内外の信認をごとは原子力安全に係る我が国に対する内外の信認をごとは原子力安全に係る我が国に対する内外の信認をごとは原子力安全にの本事業者により実施されている。単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防力をごのに関定されているか。 はに向上しているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防力をごの力をであり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されるなど順調に進捗している。 れているか。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 第整視・効率化チームの所見 第監視・効率化チームの所見
本、民間等に委ねるべき事業 の中で、本件事業は原子力安全向上のための国際的 知組の成功事例であり、我が国が本件事業に貢献することは原子力安全に係る教が国に対する内外の信認を 回復させる効果も期待できる。
取組の成功事例であり、我が国が本件事業に貢献するとは原子力安全に係る我が国に対する内外の信認を回復させる効果も期待できる。 れているか。 れているか。 本件事業にかかる事業者は、本件分野において十分な技術やノウハウを有する事業者により実施されている。単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 でつているか。 こっているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取れを原子力安全の向上に向けた国際社会としての取れを影響を表します。 など順調に進捗している。 れているか。 など順調に進捗している。 れているか。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 など順調に進捗している。 第監視・効率化チームの所見
での水準は妥当か。 本件事業にかかる事業者は、本件分野において十分な技術やノウハウを有する事業者により実施されている。 なものとなっているか。 のに限定されているか。 につまれているか。 につまりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 につたいるか。 にに向上しているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取得であり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 なる単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取得であり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 など順調に進捗している。 なる単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取得であり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。
本件事業にかかる事業者は、本件分野において十分な技術やノウハウを有する事業者により実施されている。単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 のに限定されているか。 こっているか。 こっているか。 こまに向上しているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取ったが、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 1、68や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後の、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績をある。平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を
な技術やノウハウを有する事業者により実施されている。単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 のに限定されているか。 こっているか。 こっているか。 ここでしているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取らであり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 「G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後の、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を
な技術やノウハウを有する事業者により実施されている。単位あたりのコストについても削減に向けた取組が行われている。 のに限定されているか。 こっているか。 とに向上しているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取らなり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 (G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後の5、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を第二、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表し、中華の関係を表している。 (最後の大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大
であった。
をつているか。 にの上しているか。 本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取りであり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 (G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後のか、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績をある。、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を
本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取れであり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 、G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後のち、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を
本件事業は、チェルノブイリ事故による環境汚染の防止や原子力安全の向上に向けた国際社会としての取ってあり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 、G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後のか、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を
から、平成24年4月にシェルターの建設が開始されているか。 は、G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後のが、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を
府省等と適切な役割分担とであり、シェルターの建設が平成24年4月に開始されなど順調に進捗している。 れているか。 、G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後のか、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を 算監視・効率化チームの所見
れているか。 G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後の 大平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を 算監視・効率化チームの所見
、G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後の ち、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を 算 監視・効率化チームの所見
、G8や欧州復興開発銀行をはじめとする国際社会が協調して取り組んでおり、今後の ち、平成24年4月にシェルター建設が開始されたことに代表されるように有効な実績を 算 監視・効率化チームの所見
の所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)
の所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)
ツガルでは5んに以音点 (W.チ女小にの) / も及い(M.ガイ)
±分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)
士分け・公開

事業番号 新24-2

				平成:	2 4 年行	4年行政事業レビューシート (外務省)								
事	業名		特定通常兵器使用禁止·制限条約締約国 会議(CCW)拠出金(任意拠出金)			3局庁		軍縮不拡散·科学部			作成責任者			
	事業開始 - 了(予定) 年度		平成24年度開始		担当	課室	通常	通常兵器室		室長 河野 光浩				
会!	計区分	一般会計			施第	名	Ⅵ-1 国際機	VII - 1 国際機関を通じた政策及 国際貢献			章分野に係る			
(具	処法令 体的な (も記載)		務省設置法令領		関係する通知	等	則及び「爆発性」	吏用禁止・制限条 戦争残存物に関 O条3	:約手続: する議定 項	書」(書	議定書V)第1			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		我が国は、特定通常兵器使用禁止条約の爆発性戦争残存物に関する議定書(第5議定書)について、締約国としてではなく、オブサーバーとして締約国会議に参加しているため、同議定書第10条3項規定に基づき、その際の会議費を負担する必要がある。												
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		本議定書は、爆発性残存物(ERW)の危険及び影響からの文民及び民用物の保護のための予防措置、現存するERWについての援助、一般的予防措置等について規定されており、締約国会合では議定書の履行及び運用等について議論される。												
実加	施方法	□直接実施 □		請負	補助 [〕負担	口交付	口貸付	■ そ(■その他				
				21年度	22年度		23年度	24年度		25	年度要求			
		予	初予算 正予算	-			_	5	5		5			
	算額·	の _{4品}	或し等 ー											
	に行額 ::百万円)	状 ^{裸7} 況	計	_			_	5		5				
		執行	額	_	_		_							
		執行率	(%)	_	_		_							
			成果指標	Į.		単位	21年度	22年度	23年月	隻	目標値 (24年度)			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム) 活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		(成果目標)系 務・運用に関 を収集する。	締約国会合に出 する解釈及び記	l席し,議定書の 議論を聴取し,情	義 成果実績	回					1			
					達成度	%								
			活動指標			単位	21年度	22年度	23年原	隻	24年度活動見込			
				書の義務・運用に 情報を収集する		条約本数	数)()	— (1)			
単位当たりコスト		,	4, 510千円(§	込み)	算出根拠	算出根拠 締約国会合の参加経費(見込み)/会合								
	_	基目					主な増減理由							
平成。	拠出金(任意拠出金)		5	5	_									
2 4					-									
					1									
単位:百万円 25年度予算					1									
円算														
内訳														
		計	5	5										

	事業所管部局による点検									
	評価	項目	評価に関する説明							
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	〇軍縮分野を積極的に推進しており、特定通常兵器使 用禁止・制限条約の第1~第4議定書を既に締結してい							
・予算の	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	る我が国にとって、第5議定書の締結を検討する上で、 同議定書の運用・履行の議論をフォローすることが重 要。 〇条約の運用は国のみが実施可能な事業であり、地方							
状況	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	自治体、民間等の委託には適さない。							
資	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
金の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	〇支出先は会合の運営を行っている国連欧州本部と							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	なっている。 〇専門家会合等には参加せず、締約国会合にのみ出							
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	席し、会合参加の経費を抑制している。							
目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	○軍縮代表部の担当による出席となっており、我が国 の在外公館が活用されている。							
活動	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	の在外な時が沿角で行じいる。							
実績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
成果	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。								
実		※類似事業名とその所管部局・府省名								
績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
新規案件のため未定 果										
	予算監視・効率化チームの所見									
-										
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)										
	補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)									
		関連する過去のレビューシートの事事								
平成2	2年行政	事業レビュー 平成23年行政	事業レビュー							